

Ⅲ章 保健衛生部門

1 地域保健対策強化の概要

平成9年4月に地域保健法が全面施行され、保健所は地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として位置づけられた。また、平成24年7月の「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の一部改正をふまえ、大分県では、機能強化に向けて、①健康なまちづくりの推進 ②専門的かつ技術的業務の推進 ③情報の収集、整理及び活用 ④調査及び研究等の推進 ⑤市町村に対する援助及び市町村相互間の連絡調整の推進(人材育成を含む) ⑥地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ⑦企画及び調整の機能の強化の7項目について保健所企画調整部門活動指針に掲げている。平成26年度、当保健所では特に下記の項目について重点的に取り組んだ。

(1) 企画及び調整の機能の強化

保健所は、地域の持つ課題に対する施策の企画立案及び関係機関との連携による施策の実施など広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能を総合的に発揮することを目指している。

1) 大分県東部保健所運営協議会の開催

地域住民の意見を十分反映した保健所業務の運営を行うため、地域保健法（昭和22年法律第101号）第11条及び大分県保健所運営協議会条例（昭和31年大分県条例第70号）第1条に基づき、管内住民の代表者で構成される大分県東部保健所運営協議会を設置し、関係機関等との有機的連携のもとに地域保健対策を総合的に推進した。

なお、協議会は地方自治法第138条の4第3項に基づく県の附属機関として位置づけられている。

平成26年度

開催日	場 所	出席者	議題
H26. 9. 4	別府県税事務所 会議室	運営協議会委員、保健所 職員 27名	・ 東部保健所管内の概況 ・ 東部保健所・国東保健部・地域福祉室の取組 について

資料：東部保健所調べ

2) 東部保健所企画調整会議の開催

地域保健法及び基本指針に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な活動を展開するために、保健所の運営方針、取組内容等について検討を行った。

平成26年度

会議名	回数	構成メンバー	議題
企画調整会議	13回	所長、保健部長、 地域福祉室室長、各課 長、各班総括、企画調整 担当者	・ 保健所行動計画の策定及び評価 ・ 健康危機管理体制整備に向けた計画立案、 推進方策の検討・評価の実施 ・ 各種横断的会議、事業等の企画及び評価等

資料：東部保健所調べ

3) 東部圏域医療連携会議の開催

質の高い効率的な医療提供体制を整備するために策定した「大分県医療計画」の実施にあたり、東部医療圏域の実状に応じた推進を図ることを目的に設置しており、医療計画に掲げる取組の進捗状況ならびに医療制度等の改正に関する情報共有・協議を行った。

平成26年度

実施日	場 所	出席者	議題
H27. 3. 19	別府土木事務所 別棟会議室	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療関係者、看護協会、精神保健福祉会、地域包括支援センター、消防署、別府市、杵築市、日出町、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県医療計画の進捗状況について ・地域医療構想（ビジョン）の策定について ・認知症疾患医療センターの整備について ・精神障がい者の地域移行支援について ・自殺予防対策について ・在宅医療について ・難病対策の制度改正について

資料：東部保健所調べ

4) 東部圏域在宅医療推進会議（医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度（基金）の事業）の開催

東部医療圏域における在宅医療の推進と、市町村を超えた医療と介護の関係機関相互の連携を図るため、平成26年度新たに会議を設置した。

① 在宅移行支援にかかるアンケート調査の実施

調査期間	調査対象	調査内容
H27. 1～2月	東部圏域内の病院36カ所及び地域包括支援センター・居宅介護支援事業所140カ所	在宅移行支援にむけた現状と課題について

② 在宅医療推進会議の開催

実施日	場 所	出席者	議題
H27. 3. 26	別府市社会福祉会館	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、別府市、杵築市、日出町、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の在宅医療連携拠点事業の取組と課題について ・東部保健所管内での在宅医療介護連携体制の構築に向けた取組について ・東部圏域内の医療介護連携の現状について

(2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

保健所は健康危機事案発生時の未然防止に努め、事案発生時には迅速かつ適切な対応を行い、健康危機管理の拠点として地域住民の安全な暮らしを守ることを目指している。

そこで、平常時の体制整備（健康危機発生時の未然防止、体制の構築）、発生時の関係機関との連携による迅速・適切な対応力向上に向けて、各種の取組を推進した。

健康危機管理体制の構築

平成15年度から、健康危機事案発生時の所内体制の整備を目的として、全職員を対象にした所内研修及び実技訓練（シミュレーション）等を実施している。

平成26年度は、エボラ出血熱、デング熱、MERS（中東呼吸器症候群）等の動向を把握しつつ、発生時の対応について所内検討や実地訓練等を実施した。また、各市町村の新型インフルエンザ等対策行動計画の策定にあたり、相談対応・支援を行った。さらに、特

定家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）への対応に向けて、県関係部局、市町村、関係機関と連携して防疫演習に参画した。

平成26年度

	主催者及び実施日	内 容 等	参 加 者 等
健康 危連 機絡 管会 理議	東部保健所 H26. 11. 27	①健康危機管理体制について ②感染症をめぐる動向について ・新型インフルエンザ等行動計画 ③災害時の健康危機管理対策 ・災害時における医療調整 ・国東市民病院の災害時対応	管内の医師会、歯科医師会、 医療機関、消防本部、 警察署、市町村、 東部振興局、 別府教育事務所、 東部保健所
職 員	東部保健所 ①H26. 8. 27 ②H26. 12. 4	①防護服の着脱訓練及びマスクフィットテスト ②エボラ出血熱対応訓練	①東部保健所、 別府土木事務所職員 ②東部保健所、 国東保健部職員
研 修	国東保健部 H26. 9. 29	防護服の着脱訓練	国東保健部、東部振興局、 国東土木事務所職員、 国東市役所職員
健 康シ 危ミ 機ユ 管レ 理 シ ョ ン	東部振興局 H26. 12. 4	東部地区特定家畜伝染病防疫演習 ・管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例が発生したとの想定で、集会場、クリーンゾーンの会場設営、また、健康チェック、防護服着脱等一連の流れを実施した。	東部振興局、日出水利耕地 事務所、宇佐家畜保健衛生 所、別府・国東土木事務所、 国東市、別府・杵築日出・ 国東の各警察署、東部保健 所、国東保健部
各 種 情 報 提 供	県・保健所ホームページ	健康危機管理に関する各種情報提供 ・感染症発生動向調査結果の提供 (大分県保健所健康危機管理情報提供システム「あなたの街の感染症情報」の活用) ・東部保健所ホームページへの情報掲載 ・市町村報、新聞、TVへの情報提供	住民、関係機関職員等を 対象
	iFax による情報送信(随時)	・注意喚起情報の提供 1回 (ノロウイルスについて注意喚起)	管内関係機関(登録施設)
管 物 理 品		健康危機管理に必要な機器・機材及び物品の整備	

資料：東部保健所調べ

(3) 人材育成

1) 看護学生等実習生指導

【東部保健所】

平成26年度

施 設 名	受入人数	受 入 期 間
大分県立看護科学大学	8名	H26. 5. 12～ 6. 6 (2週間)
別府医療センター附属大分中央看護学校	25名	H26. 9. 8～11. 7 (3日間、5週間)
大分大学医学部看護学科	2名	H26. 11. 10～11. 14 (5日間)
大分大学医学部看護学科	4名	H26. 2. 16～ 2. 20 (5日間)
計	39名	

資料：東部保健所調べ

【国東保健部】

平成26年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学	4名	H26.5.12～5.16 (5日間)
大分県立看護科学大学	4名	H26.6.2～6.6 (5日間)
大分大学医学部看護学科	2名	H27.1.13～1.15 (3日間)
計	10名	

資料：東部保健所調べ

2) 公衆栄養学臨地実習指導

平成26年度

施設名	受入人数	受入期間
別府大学	4名	H26.9.1、9.8～9.11 (5日間)
別府大学	3名	H26.9.1、9.16～9.19 (5日間)
別府大学	3名	H26.9.1、10.6～10.9 (5日間)
中村学園大学	3名	H26.9.1～9.5 (5日間)
計	13名	

資料：東部保健所調べ

3) 管内保健師・栄養士の人材育成

① 東部保健所管内地域保健・福祉従事者会議

平成26年度

実施月	場所	時間	回数(延)	参加者数(延人員)	内容
H26.4月 ～H27.3月 (8月は休会)	東部保健所、 管内各市役所・ 町役場会議室	13:30 ～ 15:30	11回	332人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②グループ検討 「テーマ：企画力の向上」 ③事例検討

資料：東部保健所調べ

② 国東保健部管内地域保健活動研究会

平成26年度

実施月	場所	時間	回数(延)	参加者数(延人員)	内容
H26.4月 ～H27.3月	国東保健部 国東市保健センター 国東市民病院	13:00 ～ 16:30	12回	214人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②これまでの保健活動とこれから、みんなに伝えたい思い(報告) ③活動振り返りシートを用いてPDCAサイクルを描こう(保健事業の実践報告の発表) ④地域診断 ⑤災害マニュアルの評価 ～机上シミュレーション(HUG訓練)の実践を踏まえて～ ⑥壮年期の健康づくりについて ⑦事例検討

資料：東部保健所調べ

4) 新任期保健師の人材育成

地域保健従事者の現任教育体制を構築するために、大分県では、昨年度「大分県新任期保健師人材育成ガイドライン」を作成した。

当保健所・保健部管内では、ガイドラインを参考にしながら、市町村及び保健所（部）に従事する新任期の保健師を対象に、今年度は保健師活動の基本となる「地域診断」の実践を中心に取組を行った。

平成26年度

	実施日	内容等	対象者・参加者等
地域の 診実 断践	H26.7月 ～H27.2月	各市町村の人口動態・人口静態のデータ収集・加工・読み取りを通して、各市町村の地域保健の現状を整理した。	対象：新任期の保健師 参加人数：16名
地域 診 断 研 修 会	①H26.7.18 ②H26.9.2 ③H26.10.22 ④H27.1.15	新任期の保健師及びその指導者を対象に地域診断について基本的な知識・手法と指導力の向上にむけた研修会を開催した。	①対象：新任期及び指導保健師 参加人数：22名 ②対象：指導保健師 参加人数：20名 ③対象：新任期及び指導保健師 参加人数：27名 ④対象：指導保健師 参加人数：14名
地域実 診践 断報 告 会	H27.2.23	地域診断の実践を踏まえて各地域の保健統計、健康状態について発表した。	対象：新任期及び指導保健師と各所属の担当課長 参加人数：38名